

## ■温室効果ガス削減の目標

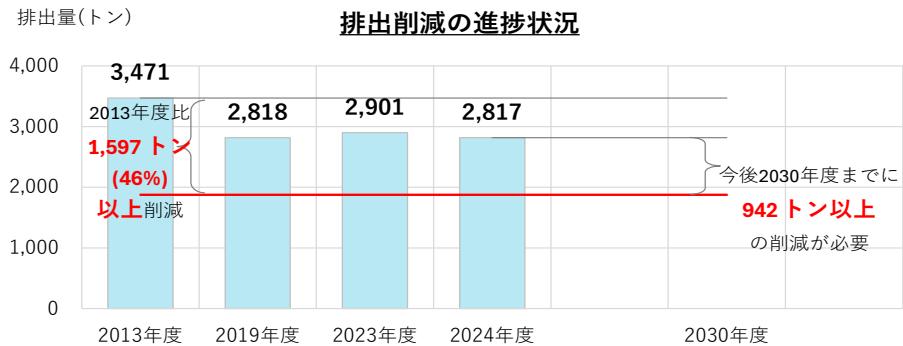
	削減目標 (政府目標値)
2030年度	2013年度比 46% (1,597トン) 以上
2050年度	カーボンニュートラル

## ■温室効果ガス排出量の推移

小松空港の2024年度の温室効果ガス排出量は、2023年度比84トン減少の2,817トンである。  
2030年度の削減目標 (2013年度比46%以上の削減) の達成には、今後942トンの削減が必要である。

	温室効果ガス排出量(トン)			
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度
空港施設	3,094	2,577	2,659	2,576
空港車両	377	241	243	241
計	3,471	2,818	2,901	2,817

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



主に契約されている電力会社の排出係数…2019年度：0.527、2023年度：0.514、2024年度：0.496  
空港全体の商用電力使用量(kWh)…2019年度：471.0万、2023年度：510.5万、2024年度：514.0万

## ■2020年度～2024年度の温室効果ガス排出量の増減背景

小松空港では、2020～2024年度にかけて、商用電力使用量が増加傾向であるのに対して、主に契約されている電力会社の排出係数は低下傾向にあり、温室効果ガス排出量はほぼ横ばいで推移している。この間、空港の利用（航空機運航回数や旅客数）はコロナ前の水準以下に留まっている。

## ■2020年度～2024年度の脱炭素化施策の取組状況

空港施設に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 建築施設照明のLED化や省エネルギー運用等、空調の高効率熱源の導入、空調・換気の省エネルギー運用等の取組が行われた。</li> <li>➢ 航空灯火のLED化の取組が行われた。</li> </ul>
空港車両に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 電動車の導入が行われた。</li> </ul>
再エネ導入促進に係る取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)
その他の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 小松駅～小松空港間で自動運転のEVバスの試験運行が行われた。</li> </ul>